

飯江小

竹海小

山川東部小

山川南部小

4校統合協議会だより

第5号

平成27年3月15日発行

発行／4校統合協議会

編集／4校統合協議会だより編集会議

第5回4校統合協議会が、1月22日、みやま市役所山川支所で開催され、統合小学校の校章・校歌の選定方法や、4校PTAの統合に関する基本的事項について話し合われました。また、校名について、教育委員会からの報告がありました。

統合小学校の校名は

おうぶかん
みやま市立 **桜舞館小学校** です。

校名への想い

4校の子どもたちが、桜舞う一つの学び舎に集い、暖かな春の訪れとともに優美な花を咲かせる桜のように、この小学校で夢を芽吹かせ、仲良く、勉学に、スポーツに打ち込み、多くの友達と切磋琢磨しながら、確かな学力と健やかな身体、豊かな心を身に付け、明るい未来へと舞い羽ばたいて欲しいという願いが込められています。

桜

天保古山の山頂にそびえる「平家一本桜」、成田山へと続く桜道、舞鶴ふれあい公園から飯江川沿いに続く桜並木など、この地域には様々な「桜」が見られます。また、「さくら」は市花であり、最初の統合校を象徴するものでもあります。

舞

桜の花が舞う様子は、子どもたちの門出を祝い、成長を期待させてくれます。また、統合小学校の立地する地名「舞鶴」の「舞」と併せることで、この地域をイメージすることができます。

館

文武に研修練磨する学び舎を連想させ、きちんとあいさつができ、規範意識の高い子どもたちの姿が思い浮かびます。あわせて、この地域では古くから武道が盛んであることも表現しています。

校名決定の経過について

校名は協議項目の中でも特に重要な事項であり、校名決定の経過については、統合協議会委員の一部より疑問の声が上がっていることから、今回、教育委員会にも出席いただき、校名決定の経過について報告・説明していただきました。

《教育委員会からの報告》

協議会と委員会の役割

- ・「学校再編計画」には、「校名は関係校区民の意見、要望を尊重し、教育委員会で決定する」とあります。教育委員会では、関係校区民の代表である統合協議会で協議され、絞り込まれた6候補を尊重し、その中から1つを選択して決定しました。
- ・特に、校名は今後永年存続していくものであり、行政手続き上も条例改正を伴いますので、臨時の教育委員会を開いて、慎重に検討しました。

決定までの経過

- ・第2回教育委員会臨時会(11/28)において、教育委員にはあらかじめ答申書等を送付したうえで、答申された6候補を同じスタートラインにあるものとして尊重し、得票数だけではなく様々な観点から協議しました。

主な意見

- ▲ 統合協議会での得票数が一番多く、4校の統合と四つ葉のクローバーのイメージを活かした『四つ葉』を推薦したい。
- ▲ 票数は分かれたものの、校名の中に『桜』や『舞』の漢字が多く使われており、そこにも協議会委員さん方の思いがあると思う。
- ▲ みやま市最初の統合であるし、市花でもある『桜』にこだわりたい。
- ▲ 『桜』には子供達がいきいきと生活する様子が、『館』には学問に励む様子が感じられてよい。など
- ・ 協議では1つに絞り込むことができず、最終的に持点方式での無記名投票を行い、最も得点の多かった「桜舞館小学校」を選定しました。
- ・ 第9回教育委員会定例会(12/16)において、桜舞館小学校という校名と校名に込めた想いを審議し、議決しました。

報告を受け、「統合協議会での投票で一番多かった『四つ葉』が消えた理由は？」という質問に教育委員会は、「6候補ともに協議会委員の皆さんの思いが込められているので、得票数だけではなく様々な観点から協議しました。結果的に投票で決定したものであり、他の候補を「消した」「消えた」ということではありません」と回答。また、「票数が多いのには多いなりの意味があるので、尊重して欲しかった」「校区民の代表である統合協議会の要望が一番得票数の多かった『四つ葉』なのだから、その思いを受け止めて、一番に審議して欲しかった」といった意見に対しては、「答申の取り扱いについて、皆さん方と教育委員会との認識が必ずしも一致していなかったことは反省しています」と述べられました。

質疑応答の後、協議会より「今後も様々な事項を協議していかなければならないので、統合協議会の意見を十分に尊重しながら進めて欲しい」と要望。教育委員会からは「これからもお互いを尊重しながら進んでいきたい」との回答がありました。



第5回 統合協議会の様子

専門部会報告

総務部会

○制服について

12/11開催

業者の見本を元に、制服のボタン、女子スカートの刺繍のデザインを検討しました。

○校章・校歌について

校章のデザイン原案と、校歌に入れたいフレーズ・単語を公募することで、今後のスケジュール等を確認しました。

施設部会

○スクールバスの運行基準について

12/4開催

基本的な方針を定め、安全性等諸事情を考慮した上で、各校区で具体的な地区を選定し協議検証を行いました。今後、検証した結果を基に、スクールバス通学範囲及び徒歩通学の危険個所を検討していくこととしています。

組織部会

○OPTA組織統合について

12/18開催

4校PTAの統合に関する基本的事項を確認し、PTA規約（案）、負担金及びPTA会費について、各選出母体での検討結果を基に協議しました。PTA規約（案）については、次回も継続して協議していく予定です。

学校運営部会

○担当者会議

12/2、5、9、15、18、19 1/16、20 開催

施設整備の具体的な要望、共通行事や徴収金関係、次年度の学校暦の作成、集合学習の計画、新校の学校医関係、事務室施設、図書館施設設備など、担当者会ごとに随時協議を行いました。

☆ 統合小学校の校章・校歌を、公募することとしました。

平成28年4月「みやま市立桜舞館小学校」が誕生する予定です。

この度、そのシンボルとなる校章と校歌を制定するにあたり、校章のデザインと校歌に入れたいフレーズ（例：「共に手をとりにこやかに」など）、単語（例：「桜」「仲良し」など）を公募することとしました。

※4月より公募する予定です。
詳しくは広報みやま4月号をご覧ください。

校章

【選定の方法】

デザインの原案を公募し、総務部会や統合協議会で数点に絞り込む。絞り込んだ数点の作品について、専門家による補作を行い、最終的な1点を決定する。

【謝礼等】

採用された作品の応募者と補作者には、謝礼を支払うものとする。

校歌

【選定の方法】

校歌に入れたい「フレーズ」や「単語」を公募し、総務部会で整理する。整理した「フレーズ」や「単語」について、専門家に作詞、作曲を依頼し、最終的に統合協議会で確認する。

【謝礼等】

作詞者及び作曲者には、謝礼を支払うものとする。

☆ 4校PTAの統合に関する基本的事項を確認しました。

1 統合の方式

各校PTAは、統合の日の前日をもって解散し、対等の条件をもって新たにPTAを組織するものとする。

2 PTA組織の名称

新たなPTA組織の名称は、「みやま市立※〇〇小学校PTA」とする。

3 事務所の位置

新たなPTA組織の事務所は、※〇〇小学校内に置くものとする。

4 統合の期日

統合の期日（新たなPTA組織設立の期日）は、平成28年4月1日とする。

※〇〇には「桜舞館」と入ります。

5 統合に伴う費用負担

新たな組織の統合に伴う費用は、一定のルールに基づき、各校PTAが負担するものとする。

6 残余財産の取り扱い

各校PTAは、解散し、その債務を弁済してもなお残余財産があるときは、新たなPTA組織に引き継ぐものとする。

7 規約等の制定

新たなPTA組織には、新たな規約等を設けるものとする。



次回の4校統合協議会は

3月19日（木）19：00～
山川支所 大会議室 です。

【問合せ先】

4校統合協議会事務局

(学校教育課学校再編推進係)

T E L 32-9027 F A X 32-9100

E-mail:saihen@city.miyama.lg.jp

友達いっぱい、楽しいよ！

昨年11月の第7回みやま市青少年健全育成大会で、山川東部小学校6年の永野^{もえか}萌香さんが「少年の主張」(意見発表)をされました。萌香さんの願いは、きっと桜舞館小学校の子どもたちにも伝わることでしょう。

『思い出いっぱいの山川東部小学校』

山川東部小学校 六年 永野^{もえか}萌香

私たちの大好きな山川東部小学校は、あと2年で閉校になります。思い出のつまった山川東部小学校がなくなるのは悲しいですが、この山川東部小学校のいいところを背負って新校をむかえてほしいと思います。

(中略)

私達が卒業した後にはできる新校への願いが四つあります。

一つ目は、みんながまとまって一つになり、堂々としていられる学校にしてほしいということです。みんながバラバラで、だらしない小学校にはしてほしくないです。

二つ目は、あいさがとても上手な学校にしてほしいということです。山川東部小学校は、あいさがとても上手です。新校になった時にも、山川東部小学校のよさをついてほしいです。

三つ目は、大変でつらいときでも、みんなと協力して助け合う学校にしてほしいとい

うことです。みんなで協力して助け合うことによって、チームワークがよくなるし、絆が深まります。協力・助け合うを忘れずに新校でも心をつにしてほしいです。

四つ目は、下級生のお手本になれるような上級生になってほしいということです。それは、上級生が悪いと、下級生も同じようにまねをします。上級生は、悪いお手本を見せるのではなく、いいお手本を見せて、下級生を引っ張ってほしいです。

思い出のつまった山川東部小学校のいいところ、「あいさつ」「いいところを見つけ」「だめなところを注意し合う」、この三つは必ず新校でも生かして、ほかの学校の友達にも広がっていったらいいと思います。

閉校まで二年とは、短い間ですが、私たちが卒業するまでに、教えられることは全部教えて、今よりもいい学校にしていきたいです。